

第8号議案

「第2回東京大学ものラボワークショップ」の後援名義の使用について

上記の議案を提出する。

令和7年2月5日

提出者 文京区教育委員会

教育長 丹羽 恵玲奈

別記様式第1号 (第6条関係)

文京区教育委員会 共催・後援 名義使用申請書

2025年1月6日

文京区教育委員会 殿

申請者 (申請団体) 東京大学杉田研究室
 東京大学ものラボ
 住所 (所在地) 東京都文京区本郷7-3-1
 工学部2号館72C1室
 代表者名 (ふりがな) すぎた なおひこ
 杉田直彦
 代表者連絡先 (事務担当者) 吉崎れいな
 yoshizaki-reina7845+monolab@g.ecc.u-
 tokyo.ac.jp

下記事業を実施するに当たり、文京区教育委員会 共催 後援名義を使用し、申請します。

記

事業名	第2回東京大学ものラボワークショップ		
共催又は後援名義等の使用を必要とする理由	文京区内の小中学生に広く周知するため。		
実施期間	2025年3月1日(土) から 2025年3月2日(日) まで (2日間)		
実施場所	東京大学工学部5号館4階		
事業内容	目的※	小学生がものづくりの楽しさを知る。協働性を育む。日常では触れる機会の少ないものづくりの道具や材料に触れ、異なる小学校・学年の仲間と協力して一つのものづくりをする経験を通して、協働の中でのものづくりの楽しさを知ることができる。	
	内容	グループで協力して、ピタゴラ装置を制作する。	
	対象者	小学校4-6年生 (参加予定人員 30人)	
	参加費	無料	
他団体の共催、後援等 (申請中、承認済の別)	株式会社東鋼、株式会社和井田製作所		
備考			
申請書類一式は、教育委員会会議資料として、HP等で公開いたします。 公開することに 同意する			

※「目的」は、教育委員会が後援するに当たり、「区立幼・小・中の児童・生徒にとって、どのようなメリットがあるのか」という視点で記載してください。

ものラボ東京大学 活動の詳細

活動の概要

本団体は、「ものづくり」の楽しさを広め、「ものづくり」が好きな子供を増やすことを目的に活動している。「ものづくり」とは思い描いたイメージを現実世界で形にするという、非常に創造的な行為である。イメージを描く想像力と、形にするための試行錯誤に耐える思考力が必要とされる「ものづくり」の楽しさは多面的で、言葉のみで伝え広めることは難しい。そこで我々は、子供、特に小学生に「ものづくり」ワークショップを企画・実施することで、「ものづくり」の実体験を通して「ものづくり」の楽しさを発見し、「ものづくり」を好きになるきっかけを提供している。

今年度は、スタート動作から人の手を借りずにゴール動作に到達することのみをレギュレーションとするからくり装置、通称「ピタゴラ装置」の制作を行うワークショップをテーマに活動を進めている。ピタゴラ装置は、あり方の自由度は高いものの、達成目標が明快で、小学生が熱中して制作に取り組みやすい。毎年8月および2月にワークショップを小学生相手に運営・実施し、成功を収めた。

小学生が限られた時間内で「ものづくり」を体験できるワークショップは非常に企画・設計・運営が難しい。参加する小学生の「ものづくり」の経験は千差万別で、「ものづくり」のどこに関心を持ちうるかという性質も異なっている。そんな彼らの多くに何かしら「ものづくり」の楽しさを発見してもらうため、我々は、ワークショッププログラム改良、スタッフ育成、教材作成に日々励んでいる。例えば、材料毎に適した切断・接合方法の習得、それを用いた「ピタゴラ装置」制作、制作した装置の教材化を行ってきている。

過去の実績（2023年4月～現在まで）

毎年8月に高山市民文化会館にて、高山市教育委員会等との協力のもと、約30名の小学生が参加する「ものラボ高山ワークショップ」を開催した（図1）。参加者は高山市内の小学4-6年生で、チームに分かれ、チームごとに一つのピタゴラ装置を作り上げた。

ワークショップ当日、ものラボ東大メンバーは、司会進行・チームファシリテータ・加工支援・遊撃補助



図1 ものラボ高山WS2023の記事が岐阜新聞に掲載

の役割を時として複数こなし、ワークショップ実施の核を担った(図2)。ワークショップ準備段階では、プログラム進行スライド、人員配置や物品手配といった運営面での準備だけでなく、「ピタゴラ装置」の一部となるようなギミックのアイデアをまとめた「ギミックカード」という教材を一から制作し、14種類のアイデアをわかりやすい形で提示した(図3)。3日間のワークショップでは実質の制作時間は10時間にも満たないが、その中で多くのチームが装置を完成させられた(図4)のは教材の存在が大きいと、ワークショップ関係者からは評価されている。



図2 高山WSの加工支援スタッフ

発表会(図5)に参加した保護者からのアンケートでは、1名の無回答者を除いた24名の回答者からプログラムに「満足した」という回答が得られた。

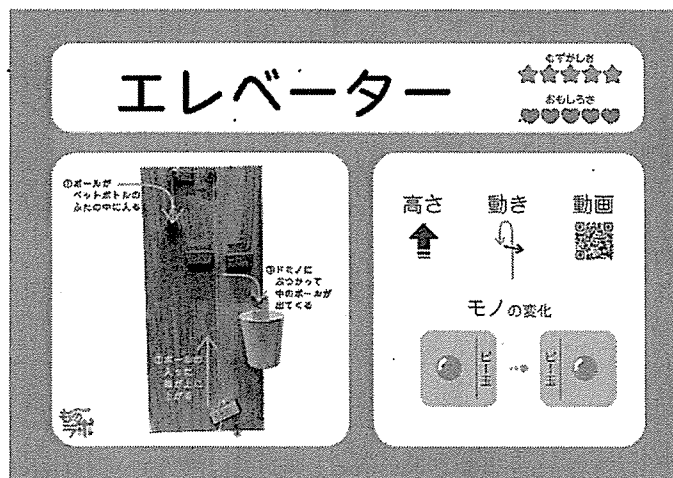
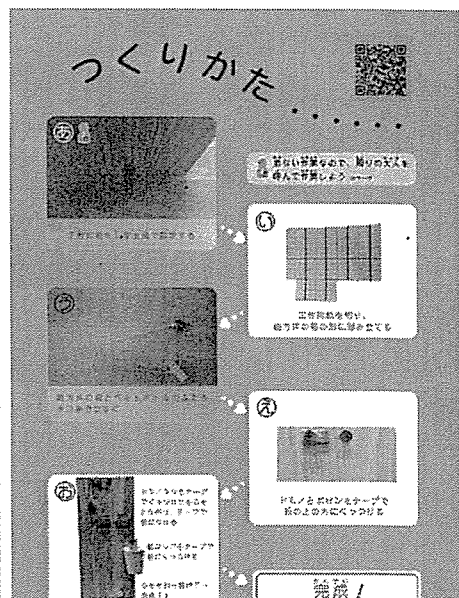


図3(a)制作したギミックカード(表)



(b)ギミックカード(裏)



図4 高山WSでつくられた装置



図5 高山WSにおける発表会

今年度（4月-9月）の具体的な活動内容

8月の高山ワークショップ実現に向けて、半年間準備を進めた。具体的な内容を以下の表にまとめた。

4月	メンバーの募集・獲得。 メンバーのものづくり体験による技術の向上。
5月	外部講師によるワークショップ運営の基礎の授業。 高山ワークショップの具体的な企画・設計。 メンバーのものづくり体験による技術の向上。
6月	高山ワークショップへの参加者募集 高山ワークショップの具体的な準備。 教材（ギミックカード）開発。 メンバーのものづくり体験による技術の向上。 ワークショップスタッフとしての基礎技術の習得。
7月	高山ワークショップの具体的な準備。 教材（ギミックカードおよびギミック）開発・制作。
8月	高山ワークショップの具体的な準備。 教材（ギミックカードおよびギミック）制作。 高山ワークショップ開催
9月	高山ワークショップの反省。

以上

今後（来年3月まで）の具体的な活動内容

3月に東京で2日間のものづくりワークショップを開催する予定である。そのために以下の表に示す計画で活動する予定である。

10-11月	新規メンバーの募集・獲得。 ものづくり技術およびワークショップ運営のノウハウの伝授・向上。 東京ワークショップの具体的な企画・設計。 東京ワークショップへの参加者募集
12月～2月	東京ワークショップの具体的な設計・準備。 教材開発。
3月	東京ワークショップ開催（3/1-2）。 反省。

3月	次年度の活動の議論。
----	------------

以上

予算に関して

活動の全予算

活動の全予算は、年間総額 300 万円を予定している（室料 60 万円を含む）。最も大きい支出は高山でワークショップを開催するにあたっての旅費（宿泊費を含む）である。

予算のうち本申請部分とその申請理由

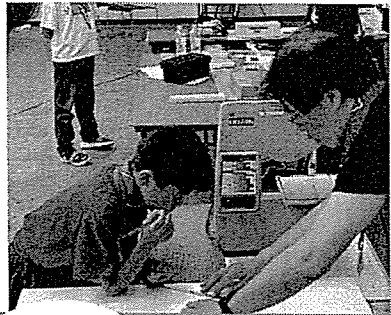
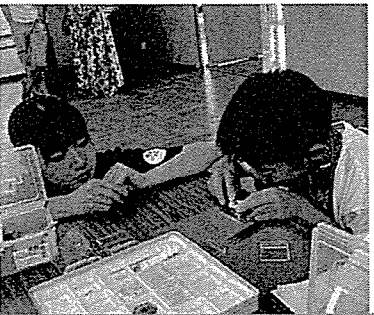
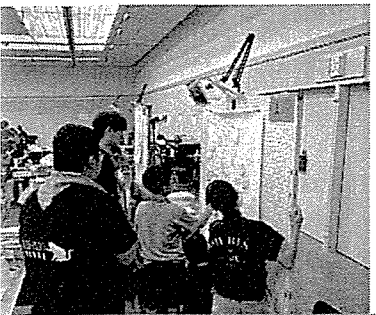
予算のうち、ものづくりのための工具と素材、部品および設備の購入を本申請予算で都合したい。

本活動団体では、三通りのものづくりを行う。一つが、小学生が主体となるワークショップ内でのものづくり、二つ目が、ワークショップのための教材制作におけるものづくり、三つ目がどのようなワークショップ・教材を作るかを検討できる人材への成長のためのものづくり、である。一つ目の小学生のワークショップにおいては、小学生の創造性を刺激するために、たくさんの素材・部品・それらに適した工具・加工方法を提供する必要がある。二つ目の教材作成についても、これらの教材を通して新たなものづくりの技法を学べるようにするためには、なるべく多数の素材・加工方法を組み合わせたレパートリーを用意する必要があり、素材・部品・工具の種類が多さが求められる。三つ目については、現状はまだ取り掛かれていないテーマ、例えば電子工作やプログラミングを含むようなワークショップ等に取り掛かる際には、授業で習った内容について更に習熟するためのものづくり練習が必要となる。総括すると、本活動のためには、ものづくりのための、素材・部品・工具を多種多様に取りそろえる必要がある。加えて、今年度から始まった活動であるため、作業台といった設備の購入が必要であり、予算に計上している。

本支援金で、活動のための設備・ワークショップ実施のための消耗品の調達だけでなく、現在のワークショップの改良や、新しいテーマの拡充に向けた、新しいものづくり技術をするための備品を購入したい。

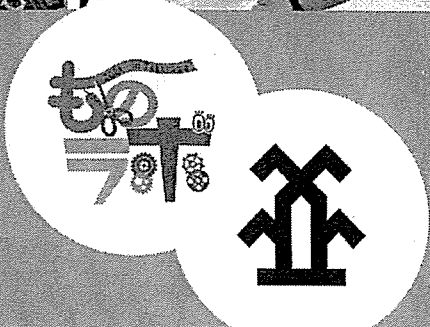
今年度の予算の申請部分以外の調達方法

8 月開催の高山ワークショップについては株式会社和井田製作所が後援してくださった。来年 3 月に開催予定の東京ワークショップについては株式会社東鋼が、後援して下さることが内定している。特に高額な高山への旅費（宿泊費）については、株式会社和井田製作所が全面的な補助をしてくださった。



第10回

ものラボ高山 ワークショップ



主催

高山市・高山市教育委員会

共催

岐阜県立高山工業高等学校

企画・運営

ものラボ東京大学・上越教育大学河野研究室

実行支援

ものラボ企画委員会

後援

株式会社和井田製作所・シチズン時計マニファクチャリング株式会社

日程

2024
8/8 (木) ~ 8/10 (土)

会場

高山市民文化会館
(高山市 昭和町 1-188-1)

プログラム日程・概要

8/8 (木) 9:00~16:00
「ようこそものラボ高山ワークショップへ！」
..... オリエンテーション・ピタゴラ制作開始

8/9 (金) 9:00~16:00
「ワクワクものづくり」
..... オリジナル腕時計作り・ピタゴラ制作

8/10 (土) 9:00~16:00
「ピタゴラ発表会」
..... ピタゴラ制作・ピタゴラ発表会
※ピタゴラ発表会にはぜひ保護者の皆さまもご参加ください！

申込締切

5/31 (金)
申込は Web からのみ受け付けます。
以下の申込フォームよりお申込みください。
(Web申込が難しい方は、小学校にご相談ください)

結果通知(予定)

6/13 (木)
結果の通知は6月中旬に学校を通じて行います。

申込フォーム



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdRpcUW0nyVq7zTJbOc15wkaljefGqaj5CQ444fJSnWCYWRpA/viewform>

※必ず裏面をご確認の上、お申し込みください。

ものラボとは？

ものラボワークショップでは、色々な学年の参加者とアイデアを出し合い、様々な材料を加工して組み合わせ、面白いピタゴラの完成を目指します。その他に、オリジナルの腕時計作りも体験します。

色々な人との関わりの中でのものづくり体験を通し、集団の中での自身の役割を模索するとともに、普段意識しないような身の回りのものの特性を意識するきっかけになればと思います。



ものラボの過去の活動はHPからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

開催概要

目的

協働を通じて、ものづくりの楽しさを知り、新たな視点を得る。

対象

高山市の小学校に在籍する4～6年生

応募条件

- ① 3日間すべてのプログラムに参加できること
- ② 他校・他学年の仲間と一緒に活動できること
- ③ 金属・ゴム等の工具や材料を使うため、重度の金属・ラテックス(天然ゴム製品に含まれる成分) アレルギー等がないこと

定員

40名 ※応募者多数の場合は抽選となります

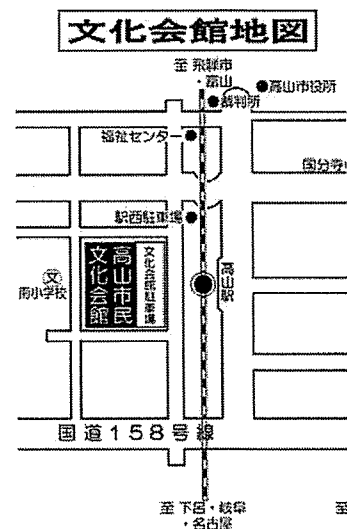
参加費

無料

持ち物

筆記用具、水筒 ※昼食は主催者で用意します

会場地図



主催からのお願い

個人情報の保護 | 申込フォームからご入力いただいたご氏名・電話番号等の個人情報は、ワークショップの運営(事務連絡等)のみに使用し、安全かつ適正に管理いたします。

写真撮影について | ワークショップの際にメディアやWebページなどに掲載する写真を撮影します。掲載時は、お子様や保護者の方の顔がわからないように加工を行います。掲載の可否について、申込フォームでご回答お願いいたします。

送迎のお願い | 会場までの送迎は、各ご家庭で責任をもってお願いいたします。都合がつかない場合、公共交通機関や自転車の使用も認めますが、会場までの安全確保についてはそれぞれのご家庭の責任でお願いします。

天候等による中止について | 天候・感染症拡大等の理由により、ワークショップを中止、もしくは集合日時・解散日時を変更する場合があります。その場合、申込フォームに記載された番号にお電話にてご連絡いたします。

昼食(食物アレルギー)についての対応 | 参加者の決定後、食物アレルギーについてご記入いただく調査用紙を送付します。その後、この調査用紙をもとに代替食のご相談をさせていただきます。

服装・持ち物 | おがくず等がでたり、接着剤を使ったりするため、汚れてもよい動きやすい恰好でご参加ください。高価なもののご持参はご遠慮ください。盗難・破損等の責任は当方では負いかねます。

体調不良時の対応 | お子さまが体調不良の際はご参加はご遠慮ください。下記連絡先までご連絡をお願いいたします。

研究協力をお願い | ワークショップの改善を目的にして、上越教育大学・東京大学・日本女子大学の研究チームによる調査研究を実施いたします。調査方法は、アンケート調査・ワークショップの動画撮影・会話内容の録音を予定しております。調査データは、個人情報保護条例にもとづき、適正な利用と厳重な管理を行います。得られた情報は、ワークショップの改善、および学術研究のためにのみ使用されます。この調査研究において、お子さんのお名前や顔など、個人が特定されることは一切ありません。後日、参加者の方には、正式な調査依頼書をお送りし、同意書を返送いただきます。

問い合わせ先

高山市教育委員会 担当 | 田中 電話番号 | 0577-35-3154 (学校教育課)



第2回

東京大学 ものラボ ワークショップ



🕒 2025
3/1(土)~2(日)

📍 東京大学工学部
5号館

プログラム日程・概要

3/1(土) 9:00~16:00

「ようこそ東京大学ものラボワークショップへ！」

オリエンテーション/お土産制作/ピタゴラ制作開始

3/2(日) 9:00~16:00

「ピタゴラ制作・発表会」

東京大学見学/ピタゴラ制作/ピタゴラ発表会*

*ピタゴラ発表会には保護者の皆さまもご参加いただけます。
ぜひご参加ください!

申し込みについて

申込フォーム



<https://forms.gle/mboW4s1ARMFGQ6Et8>
※必ず裏面をご確認の上、お申し込みください

申込期限

1/17(金) 20:00

結果通知

1/22(水)にメールにて行います

募集要項

定員

25~30名
※応募者多数の場合は抽選となります

参加費

無料

対象

小学校4~6年生

主催

東京大学杉田研究室

企画・運営

ものラボ東京大学

協賛

株式会社 東鋼
株式会社 和井田製作所



SE TOKO



Manufacturing
laboratory



問い合わせ先

東京大学杉田研究室 担当: 吉崎 れいな
yoshizaki-reina7845+monolab@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

ものラボワークショップとは？

グループで協力して世界にひとつだけのピタゴラを作ります。色々な学年・学校のメンバーとアイデアを出しあい、様々な材料を組み合わせ、見る人をワクワクさせるピタゴラの完成を目指しましょう。

またレーザーカッターで作ったオリジナルのお土産を、WSの記念に持ち帰ることができます。

小学生同士や大学生スタッフとの関わりの中で、ものづくりを体験できます。この体験を通して、他人と協力して一緒にものを作り上げる楽しさと難しさを体感していただければと思っています。スタッフ一同、皆様を楽しいものづくりの世界にご案内すべくご応募お待ちしております。



ものラボの過去の活動はHPからご覧いただけます。ぜひご覧ください。

開催概要

目的

協働性を高めるとともに、ものづくりの楽しさを知る。

対象

小学4～6年生

応募条件

- ① 2日間すべてのプログラムに参加できること
- ② 他校・他学年の子どもと一緒に活動できること
- ③ 金属・ゴム等の工具や材料を使うため、重度の金属・ラテックスアレルギー等がないこと
※その他アレルギー等で不安な点がありましたら、ご相談ください

定員

25～30名 ※応募者多数の場合は抽選となります

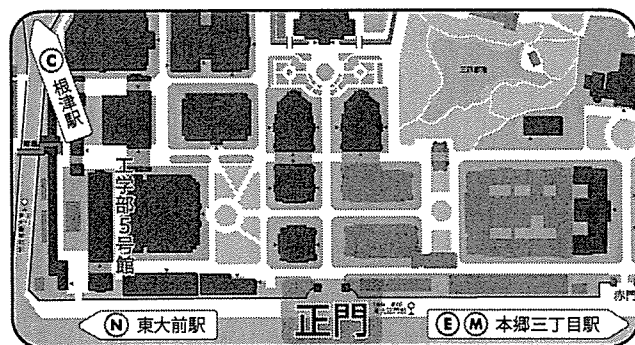
参加費

無料

持ち物

筆記用具・水筒・お弁当

会場地図



集合・解散場所

正門前（スタッフが活動場所に誘導いたします）

集合・解散時刻

集合時刻 8:45 / 解散時刻 16:15

主催からのお願い

個人情報の保護 申込フォームからご入力いただいたご氏名・電話番号・メール等の個人情報は、ワークショップの運営（事務連絡等）のみに使用し、安全かつ適正に管理いたします。

写真撮影について ワークショップの際にメディアや WEB ページなどに掲載する写真を撮影します。掲載時は、お子様や保護者の方の顔がわからないように加工を行います。掲載の可否について、申込フォームでご回答お願いいたします。

送迎のお願い 会場までの送迎は各ご家庭でよろしくをお願いいたします。

天候等による中止について 天候・感染症拡大等の理由により、ワークショップを中止、もしくは集合日時・解散日時を変更する場合があります。その場合、申込フォームに記載された番号にお電話にてご連絡いたします。

昼食の持参 安全上の理由により、ワークショップの昼休みにコンビニ等への買い物はできません。お弁当のご持参をお願いいたします。お弁当は暖房を切った建物内で保管いたしますが、極度に傷みやすいものは避けるようお願いいたします。

服装・持ち物 おがくず等がでたり、接着剤を使ったりするため、汚れてもよい動きやすい恰好でご参加ください。お子様のお荷物は施錠された屋内で保管いたしますが、高価なもののご持参はご遠慮ください。盗難・破損等の責任は当方では負いかねます。


体調不良時の対応 お子さまが体調不良の際はご参加はご遠慮ください。前日までの連絡は表面メールアドレスをお願いいたします。当日の連絡は、後にお伝えする電話番号まで直接お電話をお願いいたします。

参加意志確認への応答（抽選の有無に関わらず、）応募いただいた方には当落結果をメールでご連絡いたします。ご当選いただいた方は、参加意志確認を再度させていただきますので、当落通知メール記載のフォームから入力をお願いいたします。

2025年 / 月 6 日

確認書

文京区教育委員会 殿

住所（所在地）	東京都文京区本郷7-3-1 工学部2号館72C1室
申請者（申請団体）	東京大学杉田研究室 東京大学ものラボ
代表者名	杉田直彦 

文京区教育委員会 共催・後援名義を申請するに当たり、文京区教育委員会
後援名義等使用承認要綱を遵守し、以下の行為は行いません。

- 1 営利を目的とした行為
(物品の販売、会員の勧誘、営利目的事業の宣伝・チラシ配付等の行為)
- 2 政治的又は宗教的な行為
- 3 その他委員会の教育方針等に反する行為

仮に違反した場合、後援名義等使用承認要綱に基づき、後援名義使用の承認を
取消されることを了解しています。